

平成 24 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	評価責任者 (基本施策主管課長)	人権生活環境部市民生活課長 富岡 通郎
生活課題	文化の違いを越えて、さまざまな国籍の人が共生している		生活課題に対する満足度 H27目標値	62.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	共生・交流
	政策	多文化が共生するまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>② 左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>満足度、必要性とも上がっている。誰もが共生社会の実現を望んでいる。</p> <p>参考   満足度（満足意識） 41.3 %    必要度 54.4 %</p>
③	基本施策の現状と課題	外国人の滞在が長期化、定住化する傾向の中で、人口比率では、同じ割合で推移している。教育、就労、医療など様々な生活課題が山積する中で、多言語による広報紙の発行により、情報の共有ができるよう取り組みを進めている。地域を支えあえる一員として、認識できるよう啓発活動が必要である。
④	基本施策の意図、今後の展望	外国人集住都市会議での先進的な取組事例の研究や、国際交流協会、NPOなどと連携した多文化共生事業の充実。地域住民との共生できる社会の実現に向け、国際理解を深めるための活動。生活に必要な情報提供とサポート体制の充実。

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27	
1 多文化共生相談	目標	2,000.0	2,000.0	2,100.0	2,000.0	2,000.0	外国人が市民として共生するために必要な相談（生活相談等）。
	実績	2,576.0	2,643.0				
	達成率	128.8	132.2				
2 多言語広報紙の配布数	目標	1,700.0	1,750.0	2,000.0	1,900.0	2,000.0	広報いが市の概要版を4ヶ国語に翻訳。配布数により、行政と生活情報がどれくらい行き渡っているかを知る。
	実績	1,800.0	2,060.0				
	達成率	105.9	117.7				
3 多文化共生・国際交流に関する事業数	目標		8.0	9.0	9.0	10.0	多文化理解講座や国際交流フェスタ等、交流する機会の提供数。
	実績		8.0				
	達成率		100.0				
4 国際交流協会の会員数	目標	577.0	499.0	499.0	499.0	499.0	国際交流に関心がある人の目安を知る。
	実績	409.0	392.0				
	達成率	70.9	78.6				
	目標						
	実績						
	達成率						
	目標						
	実績						
	達成率						
	目標						
	実績						
	達成率						

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1 企画財政部 企画課		98	国際交流推進事業	無	6,767	5,803	5,803	2
2 人権生活環境部 市民生活課		99	国際交流推進事業（多文化共生事業）	無	16,559	17,733	19,237	1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
（ 以 下 続 紙 ）								
事業費合計					23,326	23,536	25,040	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	多言語(4カ国)の広報紙については、企業に設置依頼を行い広報紙の配布数の増数が図られた。外国人への理解、認識を深めるため、交流事業の充実に努める。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	外国人住民は、長期間の滞在や定住化が進んでおり、地域とのコミュニケーションがより一層求められている。外国人にとっては、生活課題（教育、就労、医療など）悩みごとが多く、相談事業は継続する必要があると考える。
3 役割分担の妥当性	多文化共生事業は、交際交流協会やNPO等との連携、協働を図り行っていく必要がある。
4 総合評価（今後の方向性、事業の見直しについて等）	外国人の生活課題に関する相談件数は、増えてきている状況の中で、わかりやすく相談しやすい行政機関となるよう努めなければならない。